【小学生高学年礼拝コンテンツ】

霊界①｜死んだらどうなるの？

今週は「死んだらどうなるの？」というテーマで、お話ししようと思います。

皆さんは、死んだらどうなると思いますか？

よく、幽霊やお化けの話しを聞くと思いますが、目に見えない世界を信じている人もいれば、見えない世界は全く信じないという人もいます。皆さんは、どうでしょうか？

結論からいうと、死んでも、私たちが完全にいなくなる訳ではありません。霊魂と呼んでいる「霊人体」があって、死んだら目に見えない世界に行きます。私たちが生きていく中で、その目に見えない世界について知ることは、とても重要なことです。

最近のニュースを見ていても、殺人事件等、悲しい出来事が沢山あります。また、死んだら苦しみから抜け出せると思って、自ら命を絶ってしまう人もいます。そのように考える人は、人間は死んだら、存在自体がなくなってしまうと考えているからです。そうではありません。私たち人間が死んだ後には、目に見えない次の世界に行き、永遠に暮らすようになります。

私たちには、心と体があります。霊人体と肉身にも、心と体があります。肉身は、肉心と肉体からできていて、それは百年くらいで死んでしまい、土にかえってしまいます。でも、霊人体はどうでしょうか？霊人体は生心と霊体からできていて、それは、永遠に生きるように神様が造られました。神様は、この世（地上世界）を肉身生活によって霊人体を育てる世界として造り、育てた霊人体が永遠に住む世界として、霊界を造られました。死んでから行く世界を「霊界」と呼びます。

すなわち、この世で生きていた人間が死ぬと、その肉身に入っていた「霊人体」が、「霊界」に行って、永遠に住むようになります。

また、霊界の話には必ず、天国と地獄が出てきます。ここで、み言を紹介します。

「天国でも、地獄でも霊人体がそこに行くのは、神が定めるのではなく、霊人体自身が決定するのである。（原理講論ｐ８８）」

霊界では、えんま様みたいな門番がいて、「お前は天国！お前は地獄！」と、これから行く霊界の場所を決めるのではなく、自分が地上でどんな生き方をしたのか、つまり霊人体の成長のレベルによって、磁石に引き寄せられるように、自分が生きやすい霊界にいくというのです。

つまり、死んで霊界に行ったとしても誰もが天国に行けるとは限らないのです。霊界で天国に行き、幸せな生活をするには、私たちが生きているこの世で、どのように生活するのかが大切です。この世の中での生活は、永遠を決定してしまう重要な期間なのです。

では、私たちはこの世で、どのように生活すれば良いのでしょうか。

この世の中の多くの人が、最も大切なのはお金だと言います。生活していくためには、お金がなければ生活出来ないからです。ただ、霊界にはお金がありません。その代わり、霊界では「真の愛」があれば、食べ物や服や家を得る力になるというのです。また、霊界では空気ではなく、真の愛を呼吸して生きます。真の愛だけが、すべての力になります。

ですので、真の父母様は、生きている間に「真の愛でために生きること」が習慣になっている人こそが、「霊人体」を成長させることができ、霊界で幸せに暮らすことができるということを教えて下さっています。

反対に、生きているうちに、悪いことをした人や、神様に対して無関心で、わがままに生きた人は、死んだ後、地獄に行き、とても悲しい生活がまっているというのです。

そして、もう一つ、真のお父様が天国について語られたみ言を紹介します。

「天国は、神の愛を中心として一体となった夫婦と、その子女が共に入っていく所である。(御旨の道p236)」

 このみ言にもあるように、天国は「夫婦」で入るといいます。「天」という字は、「二人」と書きます。真の愛で一つになった夫婦、家庭が天国に入ることができるのです。この地上世界で夫婦になり、幸せな家庭を築けば、霊界でもずっと一緒にいます。それはとても素晴らしく幸せなことです。

今回は、霊界①死んだらどうなるの？と題して、人間が死んだ後は、霊界という死後の世界に行くこと。そして、霊界では、生きている間に、真の愛で為に生きた人、真の愛で一つになった夫婦・家庭が、幸せに暮らせるということを学びました。

私たちの地上世界での生活は長いように見えますが、霊界からみたら一瞬の出来事です。しかし、その一瞬で、永遠の霊界が決まります。私たちは、真の愛でために生き、神様が決めてくださる相手と一緒に愛の家庭を築けるよう、努力していきましょう。